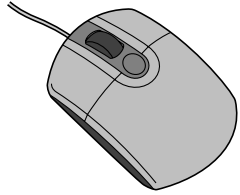


伸縮オプティカルマウス取扱説明書

MA-109Hシリーズ



最初に
ご確認ください

マウス本体 1台
取扱説明書 1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社Webサイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

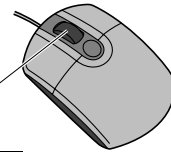
目次

- 1 はじめに
- 2 警告
- 3 健康に関する注意
- 4 対応機種・対応OS
- 5 接続する前に必ずお読みください
- 8 マウスをパソコンに接続(Windows用)
- 8 マウスをパソコンに接続(Mac OS X用)
- 10 本製品の使用方法
- 10 保証規定

はじめに

このたびは、伸縮オプティカルマウスをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、本体長を2cm調節することが出来ますので、家族など複数人で共有して使用される場合や、携帯して使用する場合に非常に便利です。また、本製品はボールを使わないオプティカル方式(光学式)のマウスです。通常の使い方にプラスして、ひざの上などでも操作が行えるので、様々なシーンで威力を発揮します。ボールを使わないので、手すりやホリコがたまってボールが動きにくくなることのないメンテナンスフリー構造になっています。本製品はWindows標準ドライバでスクロール機能がそのまま使用できますので、面倒なソフトのインストールの必要がありません。
ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいてください。

ホイールボタン
(スクロールボタン)



1

警告

テレビ・ラジオの受信障害について
本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることで確認いただけます。電源を切ることで受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせることでお試しください。

テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。
テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。
テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。
状況に応じ、テレビ・ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

注意
本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じることがあります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。
また日常のコンピュータ操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

2

対応機種・対応OS

対応機種

Windows搭載パソコン 各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ
Apple Macシリーズ
USBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種。

対応OS

Windows Vista・XP・2000・Me・98SE・98
Mac OS X(10.2以降)
Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。またホイールボタン押下による動作はサポートしません。
機種により対応できないものもあります。
この文章中に表記されるその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

3

接続する前に必ずお読みください。

本製品をUSBポートに接続する際の注意

本製品はWindows等において自動認識され使用可能となります。本製品が正常に動作しない場合は、USBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

「スタート」→「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」→「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」の項を展開します。USBインターフェイスが正常に動作していれば、下のような画面が表示されます。



USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、もしくは「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSのアップグレードや、BIOSの設定をご確認ください。初期状態ではUSBポートの使用が不可に設定されている機種もあります。
「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のペンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。表示がIntel(インテル社)以外の場合もありますので、詳しくは本体(マザーボード)メーカーのサポートにお問い合わせください。

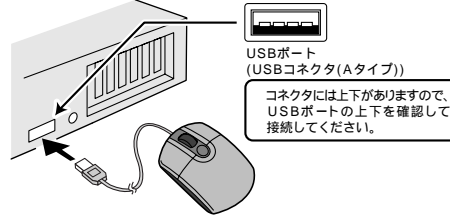
BIOS上でUSBがdisable(ディセーブル=無効)になっている場合
BIOS上のUSBをenable(イネーブル=有効)にしてください。BIOS設定画面はコンピュータ起動時にF1かF2を押して表示させるものが多いですが、詳細な方法等については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

4

マウスをパソコンに接続(Windows用)

マウスをUSBポートに接続

注意:マウスを接続する前に他のアプリケーション(ウイルス検索ソフトなどの常驻ファイル)を終了させておくことをお勧めします。
コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。
本製品をコンピュータのUSBポートに接続します。



コネクタには上下がありますので、USBポートの上下を確認して接続してください。

自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動します。
インストール作業中はマウスを動かさないでください。

Windows Vistaの場合
タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

Windows XP・2000・Meの場合
タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。



5

マウスをパソコンに接続(Windows用)(続き)

Windows 98・98SEの場合

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されます。
Windows 98SE・98では、下記の作業が発生しますので、デスクトップパソコンの方はキーボード(もしくは他のマウス)が接続されている状態で行ってください。

新しいドライバを検索しています。
USBヒューマンインターフェイスデバイス ----- 次へ



検索方法を選択してください。
●使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨) ----- 次へ



次ページへ続く

6

マウスをパソコンに接続(Windows用)(続き)

新しいドライバはハードドライブのデータベースと、次の選択した場所から検索されます。
チェックボックスにチェックマーク(✓)を入れないと ----- 次へ
もし、検索場所を聞いてきたら、✓検索場所の設定(L)

C:\WINDOWS\INF

もしくは、C:\WINDOWS\OPTIONS\CABS

もし、上記の検索場所で見つからない場合は、CD-ROMドライブにWindows OSのCD-ROM(パソコン購入時に同梱)を挿入し、_CD-ROMドライブ(C)にチェックを付けてください。



次のデバイス用のドライバファイルを検索します。
USBヒューマンインターフェイスデバイス ----- 次へ

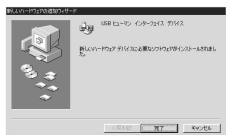


次ページへ続く

7

マウスをパソコンに接続(Windows用)(続き)

USBヒューマンインターフェイスデバイス ----- 完了

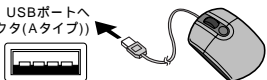


完了

マウスをパソコンに接続(Mac OS X用)

コンピュータの電源を入れ、Mac OS Xを完全に起動した後、本製品をコンピュータのUSBポートに接続します。自動的にハードウェアの検知が行われますので、そのままご使用になれます。

USBポートへ
(USBコネクタ(Aタイプ))

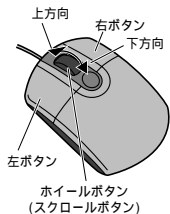


本製品の使用方法

本製品にはホイールコントロール(ホイールそのものが回転し、スクロールなどの操作が行えます。)機能が付いており、マウスから直接スクロールすることができますので、Windows上でよりマウス操作が楽に行えるようになります。また、本製品は、Microsoft IntelliMouse互換機能も持っていますので、MS-OFFICE 97のようにIntelliMouse機能を持っている場合であれば、幅広いナビゲーション(スクロール、オートスクロール、ズームなど)が行えます。

8

本製品の使用方法(続き)



左ボタン・右ボタン

左ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きも行うことができます。左利きの方などは「マウスのプロパティ」の中の「ボタンの選択(B)」で、お好みに合わせて変更可能です。

ホイール(スクロール)

インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させて使います。

ホイールボタン(スクロールボタン)

インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしマウスを前後左右に少し動かすと自動的に画面がスクロールします。このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。

ズーム

ズームはMicrosoft IntelliMouse の通常機能ですので、MS-OFFICE 97用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に入ります。

「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回させると、倍率が上がります。「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回させると、倍率が下がります。

本体の伸縮方法

大きくする場合



小さい状態から大きくする場合には、マウス上部を最大まで下(手前)にずらします。そうすると本体の押し込まれた部分が表面に上がり、中型のマウスになります。

9

本製品の使用方法(続き)

小さくする場合



大きい状態から小さくする場合には、マウス上部の左側(左ボタン後部)を押し込み、その後右側(右ボタン後部)を押し込みます。そうすると、音が生じて折りたたまれた状態が固定されますので、マウス手前部分を固定音がするまで奥にずらします。これで小型のマウスになります。

保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - 保証書をご提示いただけない場合。
 - 所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 故障の原因が取扱以上の不注意による場合。
 - 故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - 天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内の修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 修理に依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

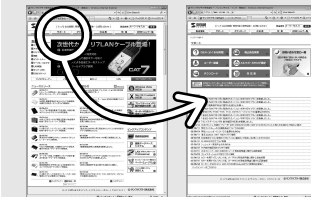
10

最新の情報はWEBサイトで!! <http://www.sanwa.co.jp/>

サポート情報
ドライバのダウンロード
よくある質問(Q&A)
各種対応表

など、最新情報を随時更新しています。

トップページから サポート&ダウンロード コーナーへ



ご質問、ご不明な点などがございましたら、ぜひ一度、弊社WEBサイトをご覧ください。

サンワサプライ株式会社

2008.9

岡山サプライズセンター / 〒700-0825 岡山市田町1-10-1 ☎086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サプライズセンター / 〒114-8568 東京都品川区南大井6-5-8 ☎03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所 / 〒060-0807 札幌市北区北5条5丁目5-17 ☎011-851-3450 FAX.011-746-4980
仙台営業所 / 〒983-0851 仙台市青葉区権町1-6-37 ☎022-257-4638 FAX.022-257-4633
名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中村区権町1-6-7 ☎052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区宮田4-1-4 ☎06-9395-5310 FAX.06-9395-5315
福岡営業所 / 〒812-0012 福岡市博多区中央8-20第2 ☎092-471-8078 FAX.092-471-8078
金沢 ☎076-222-8384

08/09/JMDaT